

会 長 挨拶

植 月 恵 一 郎

改元を迎え、平成は終わり令和となりました。元号（和暦）の使用は、様々な立場から賛否両論ありますが、それはさておき、日本だけの特徴で、西暦を使う文化圏では decade を単位に考えるなどとも言われます。しかし、視野を広く取れば、似たような時間の括り方は、Elizabethan, Jacobean, Caroline などの呼称や、もう少し広い範囲では、dynasty などのまとめ方があることは、周知の通りです。

ある時点を節目に來し方行く末に思いを馳せてみることは重要なことでしょう。この三十年ほどの間の、大学教育にせよ、文学自体の価値観にせよ、批評理論の展開にせよ、要因はともかく、大きく変化してきたことは、皆様ご承知の通りです。過去を踏まえ、今後の十七世紀英文学研究のあり方について、会全体として議論する機会があってもいいのではないかと思います。

本学会自体での節目を考えるなら、十七世紀英文学談話会として発足した 1951 年から 70 周年に当たる 2021 年とか、あるいは、最初の論集が出版された 1974 年から数えて 50 周年が、東京を越えてパリ・オリンピックの年になる 2024 年になります。会自体手直ししていかなければならない部分もまだまだあります。皆様の叡智を結集して、ますます充実して、他を圧倒するような学術研究団体になることを望んでおります。

1. ホームページおよびツイッターのお知らせ

当学会のホームページ(HP)は金星堂のご協力のもとに学会 HP 委員が運営・管理しております。

<http://www.kinsei-do.co.jp/S17CEL/>

「会員による新刊情報」や「会員による最新研究情報」などの HP 掲載データは年 2 回更新します。4 月末には各支部事務局が、11 月末にはホームページ委員が掲載データを取りまとめます。研究業績を内外に知らせる良い機会となりますので、最新データの提出にご協力をお願いいたします。

また、学会ツイッター（十七世紀英文学会（公式）@S17CEL）ではホームページよりも早く最新情報を掲載しています。フォローおよび最新情報のご確認を随時お願いいたします。

教員公募情報受け付けおよびツイッター配信開始のお知らせ

当学会役員会での協議により、国公立私立の大学、短大、それに準じる教育・研究機関から当学会に寄せられた英語英文学関係専任職の公募情報を、学会ツイッターで配信することにいたしました。学会ツイッターでは情報をお寄せいただいた順に、大学の公募ホームページあるいは研究者人材データベース（JREC-IN）へのリンクを掲載いたします。掲載を希望される場合には、本部事務局宛てにメ

ールにて応募締め切りとともにお知らせください。なお、ウェブサイトへのリンクがない場合は、PDFデータを添付ファイルにてお送りください。

2. 論集第19巻について

十七世紀英文学会論集第19巻『十七世紀英文学における生と死』には計12本の論文が集まりました。ご投稿の先生におかれましてはありがとうございました。9月の全国大会開催時に間に合う出版を見込んでおります。

3. 全国大会について

2019年度全国大会を下記の通り開催します。

日時：2019年9月21日（土）14時～17時30分（総会含む）

場所：東北学院大学 土樋キャンパス ホーイ記念館 H301教室

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1

発表者：東北支部 佐々木 和貴 氏

東京支部 富樫 剛 氏

関西支部 桂山 康司 氏

懇親会会場：Barm's Irish Pub

宮城県仙台市青葉区五橋2-11-1 第三ショーケービル112

会費：7500円（予定）

発表時間は一人30分、質疑応答10分、休憩時間10分の予定です。昨年度同様、すべて新規の発表となります。

総会終了後、18時から懇親会を行います。多数の皆様のご参加をお待ちしております。なお、出欠確認につきましては追って連絡します。

4. 総会について

総会につきましては、全国大会と同日程という案と、従来通りに日本英文学会の前日という案があり、2016年度の総会において、以下のように決定されてきました。

「総会と懇親会については金曜夜開催したほうが良いのではという意見があり、支部の意見を聞きつつ、最終調整をする。」

今年度までは全国大会と同日程にて行うことになっております。2020年度以降につきましては総会にて決定する予定です。ご意見がありましたら各支部でとりまとめをお願いします。

5. 会計報告 (仮)

2018年度の会計報告を以下に記します。会員の皆様には会費納入へのご協力をお願い申し上げます。

2018年度 (2018年4月1日～2019年3月31日)

収入		支出	
前年度からの繰り越し	407,041	通信・事務費(封筒・切手・振込手数料)	13,332
会費収入 東北支部	36,000	大会開催費(コピー代)	820
東京支部	144,000	懇親会開催費(マイク代、会費不足分)	7,400
関西支部	90,000		
郵便貯金利子	4		
計	677,042	計	21,552

次年度繰越金 655,490円 (2019年5月31日)

*正式な会計監査付きの資料は総会でお配りします。

6. 担 当

- *本部事務局：竹山 友子
- *本部会計：金崎 八重
- *東北支部事務局：川崎 和基
- *東京支部事務局：伊澤 高志
- *関西支部事務局：松本 舞
- *学会ホームページ委員：山本 真司

十七世紀英文学会規約

(名称)

1 本会は十七世紀英文学会と称する。

(目的)

2 本会は十七世紀英文学の研究を促進し、あわせて会員相互の連絡をはかることを目的とする。

(会の活動)

3 本会に本部と支部を置く。各支部は年数回の談話会等を開いて会員の発表・報告を聞き、研究情報等を交換する。

(2)本部は総会を開いて重要事項を決定すると共に「ニュース」「論集」等の編集刊行をする。なお、「論集」編集規定は別に定める。

(3)各支部は相互交流のために、年一回、談話会等に他支部所属会員を招聘することができる。その際には、本部会計より旅費(一律2万円)を補助するものとする。

(会員)

4 入会希望者は、各支部または本部に申し込んで会員となることができる。

(会長)

5 本会に会長をおく。

(2)会長は会員の互選により総会で決定する。

(3)会長の任期は2年とする。再任は妨げないが、再任は1回限りとする。

(顧問)

6 本会に顧問をおくことがある。

(2)顧問は会員の総意により総会において委嘱する。

(組織および会の運営)

7 本会は会長の他に次の役員をおく。

本部幹事若干名 支部幹事各2名
編集顧問 編集委員若干名 会計監査2名

(2)本部幹事は会員の互選により総会で決定し、支部幹事と合議の上で本会の運営にあたる。

(3)支部幹事は各支部で選出し、本部に報告する。支部幹事は支部の運営の他に本部との連絡にあたる。なお、本部幹事と支部幹事が重複することは差支えない。

(4)編集顧問は編集委員会が委嘱する。

(5)編集委員は、当分の間、各支部より2名選出するが、東京支部は3名とする。編集委員は編集会議を開き、「ニュース」「論集」等の編集にあたる。

(会計)

8 本学会の経費は会費、寄付金その他の収入をもってこれにあてる。

(2)会費は年額、本部会費3,000円、各支部会費(東京支部500円(学生会員を除く)、関西支部2,000円(学生会員を除く))とし、あわせて支部に納入する。本部会費3,000円は各支部により本部へ送付するものとする。

(3)本部会計の決算報告は翌年度の総会において行なう。

(4)会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

(5)本部会計は本部幹事がこれを統括し、会計監査がこれを監査する。

(規約の発効)

9 本規約は1984年5月12日より発効する。

(規約の改正)

10 本規約は改正の要が生じた時は総会においてはかる。

1988年5月21日一部改正／1989年5月20日一部改正／1996年5月25日一部改正／2010年5月29日一部改正／
2013年5月24日一部改正／2017年4月1日一部改正／2018年4月1日一部改正／2018年9月8日一部改正